

報 道 資 料

平成30年3月30日
奈良県 県土マネジメント部
道路建設課 課長 松田
事業調整係長 中井
(内線 4132)
ダイヤル 0742-27-7494

奈良県内の京奈和自動車道『全線事業化』される

～ 大和北道路 (仮称)奈良北 IC から郡山下ツ道 JCT ～

有料道路事業と公共事業(直轄道路)により新規事業化されたことが発表されました。

平成30年3月30日、国土交通省より平成30年度予算配分の概要が公表され、大和北道路の(仮称)奈良北 IC～(仮称)奈良 IC(延長6.1km)の新規事業化されました。また、平成30年度より、既に事業中の大和北道路(延長6.3km)も含めた、(仮称)奈良北 IC～郡山下ツ道 JCT(延長12.4km)の区間において、公共事業(直轄道路)と有料道路事業との合併施行方式が導入されることが発表されました。

このことについて知事コメントを發表します。

<資料1> 知事コメント

<資料2> 参考 国土交通省近畿地方整備局報道資料

「平成30年度近畿地方整備局予算について」(抜粋)

(平成30年3月30日公表)

URL

http://www.kkr.mlit.go.jp/profile/yosan/h30/ol9a8v000000jy1v-att/h30_yosan01.pdf

京奈和自動車道大和北道路((仮称)奈良北IC～郡山下ツ道JCT)の 有料道路事業導入による平成30年度新規事業化について

知事コメント

京奈和自動車道大和北道路について、3月30日に国の平成30年度予算が発表され、有料道路事業導入による事業化が決定しました。

京奈和自動車道大和北道路の(仮称)奈良北IC～(仮称)奈良ICまでの間は、関西大環状道路の中で唯一のミッシングリンクとなっており、物流産業や観光周遊などの様々な問題が発生していることから、合併施行方式による早期整備を強く要望して参りました。

そのような中、大和北道路が合併施行方式により新規事業化がなされ、京奈和自動車道の早期全線整備に向けて大きく前進することは、誠に喜ばしい限りです。

県としましても、大和北道路へのアクセス道路の整備等を進めるとともに、円滑に事業が進められるように取り組んで参ります。

近畿圏環状道路の整備推進

新規事業

■国道24号 大和北道路(奈良北～奈良)

事業費:1億円【直轄】

大和北道路(奈良北～奈良)は、京都、奈良、和歌山を結ぶ京奈和自動車道の一部を構成する自動車専用道路であり、一般国道24号奈良市歌姫町から八条三丁目間の交通混雑の緩和、交通事故減少、走行時間短縮、定時性確保などを目的とした延長6.1kmの道路で、平成30年度に新規事業化しました。また、平成30年度より、既に事業中の大和北道路(延長6.3km)も含めた、延長12.4kmの区間において、公共事業と有料道路事業との合併施行方式*が導入されました。

一般国道24号 大和北道路(奈良北～奈良) (奈良県奈良市歌姫町～奈良県奈良市八条三丁目)



期待される整備効果

通過交通量転換により地域の混雑緩和。観光行動の支援。

■通過交通量転換により地域の混雑緩和

・当該区間から通過交通が自動車専用道路に転換することで交通量が減少し、地域の交通混雑が緩和します。

奈良市内を通る南北幹線道路*1の通過交通
現況*2: 23千台/日
⇒ 将来*3: 10千台/日

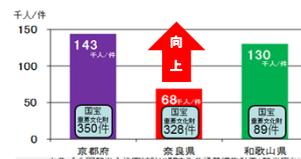
*1: 国道24号、国道169号、(主)奈良大和郡山班鳩線、(副)木津横田線
*2: H22一般交通調査
*3: H22一般交通調査を基に予測したH42将来交通量

自動車専用道路(供用中) 風間12時間平均旅行速度
自動車専用道路(事業中) (奈良県内主要地方道一般国道)
一般道路(県道以上) 40km/h未満
市街化区域(奈良県のみ) 40km/h以上
主要洗濯箇所



■広域的な周遊性向上による観光行動の支援

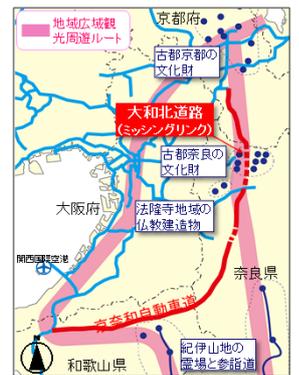
・京奈和自動車道のミッシングリンクが解消し、京都・奈良・和歌山間の移動性が向上すれば、これまで各地域の観光のみだった観光客が他地域へも周遊が可能となり、観光支援に寄与します。



沿線3府県の国宝・重要文化財件数

(建造物)に対する観光入込客数

京都(清水寺)～和歌山(金剛峯寺)の所要時間
現況: 170分 ⇒ 将来*3: 140分(30分短縮)



京奈和自動車道周辺地域の世界遺産分布

地域広域観光周遊ルート出典: 観光庁HP
(H27年度全国道路・街路交通情勢調査・昼間12時間平均旅行速度より)
*3: 大和北道路は80km/hで所要時間を算定

※公共事業と有料道路事業により、事業を推進する方式